



2020年7月29日

各位

上場会社名 西部瓦斯株式会社
代表者 代表取締役社長 道永 幸典
(コード番号9536 東証第1部、福証)
問合せ先責任者 経理部連結決算グループマネージャー 山崎 正良
(TEL. 092-633-2245)

業績予想の公表に関するお知らせ

2020年4月28日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	191,000	4,000	4,000	1,500	40.51
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	204,445	7,562	7,529	4,695	126.70

2021年3月期通期個別業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	118,000	1,000	2,000	1,500	40.51
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	125,354	2,911	4,281	1,621	43.75

業績予想の理由

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難であるとして未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報をもとに業績予想を算定いたしました。

2021年3月期第1四半期の連結売上高は、ガス事業、LPG事業及び食関連事業等において新型コロナウイルスの影響を受けたことなどから、前年同期比10.7%の減収となりました。5月に緊急事態宣言が解除され、当社グループに関連する経済活動も再開されつつあることから、第2四半期以降も一定程度の影響を受けるという前提のもと、連結及び個別の業績予想を公表いたします。

当期においては、都市ガス販売量を前期比1.2%減少の872百万m³と見込んでおります。収支は今後の原油価格や為替レート等の動向に影響されますが、原油価格50ドル/バレル、為替レート110円/ドルの前提で、連結売上高は前期比6.6%減少の191,000百万円、経常利益は同46.9%減少の4,000百万円を見込んでおります。

<対前年実績（連結）>

項目	2020年度予想	2019年度実績	増減	率(%)
売上高	191,000	204,445	△13,445	△6.6
営業利益	4,000	7,562	△3,562	△47.1
経常利益	4,000	7,529	△3,529	△46.9
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500	4,695	△3,195	△68.1

<対前年実績（個別）>

項目	2020年度予想	2019年度実績	増減	率(%)
売上高	118,000	125,354	△7,354	△5.9
営業利益	1,000	2,911	△1,911	△65.6
経常利益	2,000	4,281	△2,281	△53.3
当期純利益	1,500	1,621	△121	△7.5

※前提：原油価格 50ドル/バレル
為替レート 110円/ドル

上記予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期等、今後の様々な要因により実際の実績が記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以上